

目標達成計画

作成日：平成 30年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	事業所やサービス提供内容を理解してもらうためにも、家族の出席促し、参加しやすい環境にも配慮して欲しい。	運営推進会議の内容見直し家族参加が増えるよう議題の見直しを行う。	運営推進会議内容の見直し、施設向け内容から利用者向け内容に変えて多くの家族の人に参加を促す議題に変える。家族の皆さんが興味を持つ内容にする。	3ヶ月
2	5	メイン入口の自動ドアを利用者が自由に入出りできるよう配慮する。	出入り口のオープン化。	利用者が出たいとき、及び出れるよう見守りのありかたを考え1日でも多くの日を出入り可能にして行く。利用者とのコミュニケーションを増やし今何をしたいかを聞く体制、利用者が言いやすい体制を作る。	10ヶ月
3	1	利用者は、広範囲にいるが、地域密着型サービスであることを常に職員が共有していく。	より多くの方と交流できるよう計画を作り出す。	広範囲の地域との交流が出来る計画づくり。利用者の考えを基に可能な範囲での交流の場を作る。生活している地域の一員である事を再認識してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。